

# 2014年九州 夏季節電へのご協力をお願い

九州経済産業局  
九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議

平成26年5月16日、政府による「今夏の電力需給対策」が決定されました。

九州電力管内においては、電力の安定供給に最低限必要な予備率3%を確保できる見通しとなりましたが、これは節電の定着(※)や東日本を含む他電力からの融通を織り込んだもので、火力発電所のトラブル等が発生した場合には、電力需給がひっ迫する可能性もあることから、**電力需給は予断を許さない状況**です。

今夏も昨年に続き、国民の皆様にも**数値目標は設けない節電の協力を要請**することとなりました。国民生活、経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、ご協力をお願い申し上げます。

## 節電期間・時間帯等

7/1(火)

平日9:00 - 20:00(8/13~8/15を除く)

9/30(火)

**猛暑だった昨年並みの節電のお取り組みにご協力お願いします。**

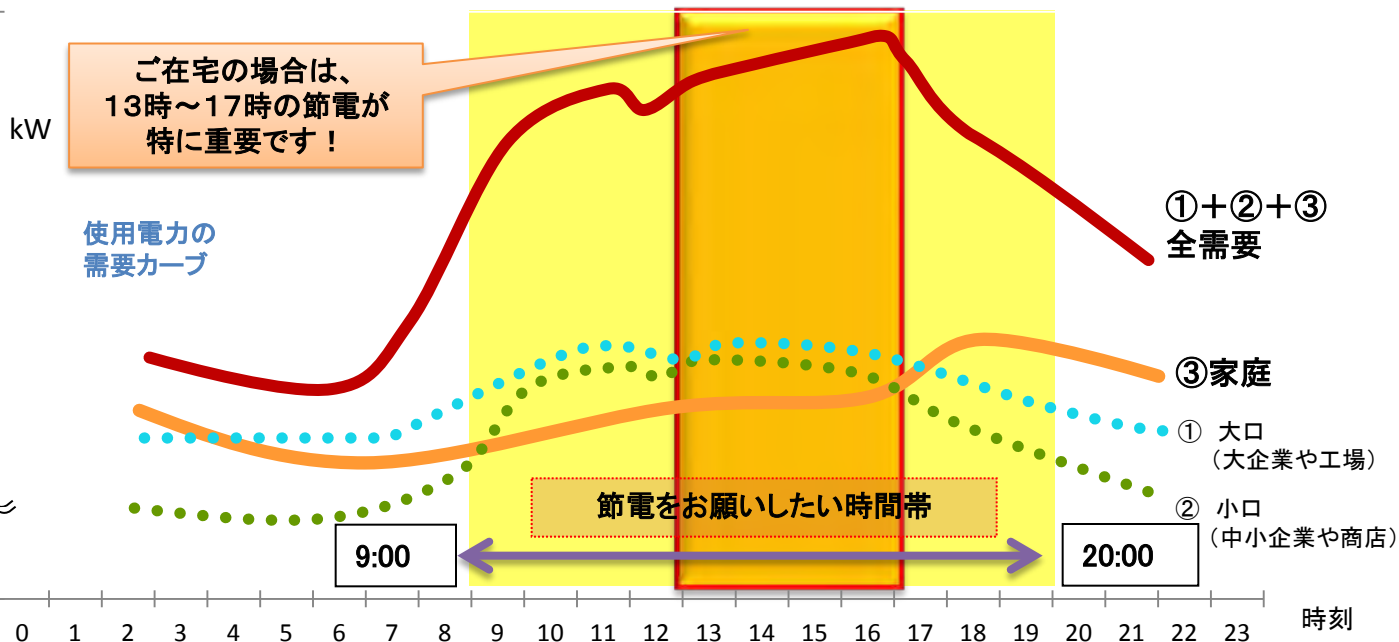
(※)2010(平成22年度)夏季比▲9.2%程度の節電を目安

### ◇節電にあたってのご留意

- ・ 屋内でも熱中症にかかる場合があります。
  - ・ 適切な室温管理や水分補給に留意いただくなど、十分にご注意ください。
- 特に、ご高齢の方や体調に不安のある方はお気をつけください。

電力の需要は平日の**日中(13:00-17:00頃)に最大ピーク**となる傾向にあるため、この時間帯の節電が特に重要です。

**※九州地方は日の入り時間が遅いため夕方17時までピーク時間を想定しています。**



# ～節電メニュー(ご家庭向け)を参考に、節電をお願いします～

※資源エネルギー庁推計(在宅家庭の日中の最大使用時(約1,200W)に対する削減率の目安)

基本となる10の節電メニュー		削減効果(削減率)	チェック
エアコン	①室温28℃を心がける。 (設定温度を2℃上げた場合)	10%	
	②“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。 (エアコンの節電になります。)	10%	
	③無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。	50%	
※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になる場合があるため注意が必要です。			
冷蔵庫	④冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。 ※食品の傷みにご注意ください。	2%	
照明	⑤日中は不要な照明を消す。	5%	
テレビ	⑥省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2%	
温水洗浄便座	⑦温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。	どちらかで、1%未満	
	⑧上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。		
ジャー炊飯器	⑨早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	2%	
待機電力	⑩リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%	

## 夏の昼間に家庭で最も電気を消費するものは？



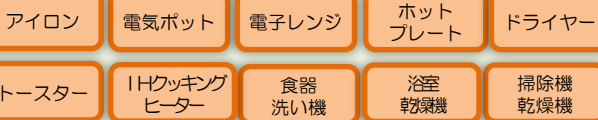
エアコン(58%)、冷蔵庫(17%)、テレビ・照明・待機電力等(15%)、その他(10%)であり、  
～エアコンの節電は特に重要です！～

※資源エネルギー庁推計(夏の昼間(14時頃)の使用例)

さらに効果を高める節電メニュー		チェック
エアコン	フィルターをこまめに掃除する。	
	2部屋でそれぞれ使用している場合には、1部屋(1台)に減らして使用する。 (仮に、350Wを2台を使用している場合、約30%の節電効果となります。)	
冷蔵庫	壁との間に適切な間隔を空けて設置する。	
電気ポット	お湯はコンロで沸かし、ポットの電源は切る。	
洗濯機	容量の80%程度を目安にまとめて洗いをする。	
パソコン	日中、短時間であればノートパソコンの電源を抜いて使う。	
	省電力設定を活用する。	
掃除機	紙パック式はこまめにパックを交換する。	
	昼間のピーク時はモップやほうきを使う。	
ライフスタイル	節電のための家事スケジュールを立てる。 日中(特に13時～17時)を避けて電気製品を使用する。	
	外出や旅行による節電。	
契約見直し見える化	契約電力の見直し (節電料金メニュー、適切なアンペア設定等) 電力会社のウェブサイトに登録頂き消費電力を「見える化」	

### その他の電化製品について

その他にも、消費電力が大きい電気製品は、特に日中(13時～17時)を避けて使用していただくなど、ご協力をお願いいたします。



### 取り組みの例

#### 九州電力管内(定着節電 ▲9.2%)

照明	不要な照明を消す	▲5%
冷蔵庫	設定を「中」に、扉の開閉時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにする	▲2%
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	▲2%
温水洗浄便座	温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。	▲1%未満

＝合計▲10%弱

### 省エネ家電への買い替えや、LED照明への交換も節電・省エネに有効です

省エネ家電への買い替えに際しては、統一省エネラベルを参考にしてください。  
(お使いの電気製品をより大型のものに替えると、消費電力が増えることもありますのでご注意ください。)



■具体的節電メニューや事業者向けの節電メニューについては、九州経済産業局ホームページ「省エネ・節電情報コーナー」(<http://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/energy/suishin-kaigi/setuden.htm>)及び 政府の節電ポータルサイト「節電.go.jp」(<http://setsuden.go.jp/>)にアクセスしてください

■メールマガジン「エナコロ通信」のご案内(ご登録が必要です)  
節電要請期間中、翌週の電力需給予想、節電対策情報、需給ひっ迫警報等を配信します。  
ご登録は九州経済産業局ホームページからお願いします。  
<http://www.kyushu.meti.go.jp/merumaga/mailmagazin.html>

【お問い合わせ先】  
九州経済産業局  
エネルギー環境広報室  
TEL: 092-482-5467